

クラス	104	担当教員	にしむらかずひこ 西村 一彦
	テーマ	データを採って分析する	
	著書・論文	技術，資源，環境，イノベーション	
	研究課題等		
ゼミナール 概 要			
キーワード： 調査，分析，統計，英語			
目的，内容，方法等： 経済学には理論と実証の 2 つのアプローチがあるが、本ゼミナールでは、実証研究を中心としたアプローチを修得することを学習目標としている。 最終的にはテーマにしたがってデータを採取することが重要である。テーマは学生の興味や時勢に即したものを選ぶが、これまでは、ため池の魚類調査，あるいはタイ紅茶やウェイプフルボールなど，科学的マーケティングの手法に基づいたものを扱ってきた。 これらのデータの分析には，統計的手法の理解が不可欠であり，2 年・3 年次では統計学の習得が主な課題となる。英語の文献から知識を得ることにより，数量分析の知識とともに英語の習得も目標とする。 授業計画： 2 年次は，英語で書かれた統計学の教科書で学びます。毎回，担当箇所が決められ，各自が報告します。 3 年次も，基本的には英語の文献の講読ですが，内容は経済学・経営学に関するものになります。 4 年次は，各自のテーマでデータ採取・分析を行い，卒業論文を書きます。（卒論は日本語で可）			
使用テキスト		担当教員からのメッセージ	
後日指定します		アルバイトや部活を優先する者は歓迎しません。	
		英語が不得手な人は苦勞すると思いますが，英語の文献は，たいてい非常にわかりやすく書かれています。英語も数学も一度に両方できて，一石二鳥なのではないでしょうか。	